今泉地区に消防出張所を開設

ポンプ車、救急車を配備

鎌倉市今泉2丁目に大船消防署の今泉出張所が4月1日、開設された＝写真。

24時間体制で常時7人が勤務。消防ポンプ自動車、救急自動車各1台を配備。岩瀬、今泉、今泉台の面積3・3平方キロメートル、人口1万5千人の防災拠点となる。

建物は鉄筋コンクリート2階建て、延べ面積403平方メートル。1階は車両2台入る車庫、事務所、障害者も利用できる多目的トイレ、2階は職員の仮眠室などで総工費約2億円。

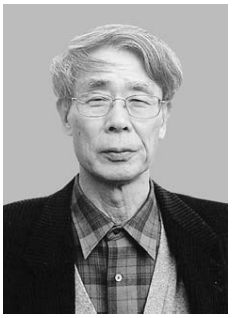
防犯などを考慮してガレージのシャッターにガラス面を多用、周辺を夜間明るくし「開かれた消防」にし力所目。

鎌倉には鎌倉・大船の本署が2、出張所は浄明寺、深沢、腰越、長谷、玉縄、台にあり、これが7ている。

ひと

玉縄桜をひろめる会代表

増田行治（ますだゆきはる）さん



「生まれも育ちも鎌倉は玉縄。問われて名乗るもおこがましいが、知らざぁ言って聞かせやしょう、その名もタマナワザクラ」

春の宵、満開の花を眺めながら、こんな啖呵のひとつも切りたくなるような桜。花びらはソメイヨシノより少し、小ぶりな感じだが、色合いや花の汁観きはソメイさんに勝るとも劣らない。

しかも2月上旬から1カ月前後、咲き続けるほど花持ちがいい。こんな素晴らしいタマナワザクラを町おこしのコア（核）にと結成されたのが、「玉縄桜をひろめる会」である。

「この地域ゆかりの桜が玉縄城跡や学校、街路、川岸、民家の庭先など、どこにいってもあり、早春からパッと咲き出す。花に囲まれた楽園のような玉縄。それが全市に広がり、やがて日本中へ。こんな夢を描いている」

玉縄地域の増田行治、長田忠巳、鈴木信成、杉治彦の4人が中心になって昨年5月に結成した。世話人をかねて増田さんが代表となった。NPO（非営利活動）団体の登録もした。勉強会を重ねながら、町おこしの核としての決意をした。

この桜は県立フラワーセンター大船植物園で生まれた新種である。1969年、センター職員が、園内で拾った桜の種を自宅の敷地にまいて発芽させた。

開花した中に早咲きの桜があった。センター正面ゲートから2百メートルほどのところに移植。幹回り40センチほど、樹高7メートルくらいに枝を広げた原木は県の名木・古木50選にもなっている。90年に固有の「玉縄桜」として農水省に種苗登録した。今春は平年より2週間早い2月上旬開花した。

「偶然発見したとは言え、ソメイヨシノと区別していくほど似ている。気温の低い時期に咲くため、長く観賞して楽しめる特徴を持っている」

ひろめる会の人たちはフラワーセンターの協力で昨年6月、百本ほど挿し木をした。15センチくらいになり、葉がつきだしたところで鉢植えし、会の4人が分け合い自宅で育成している。

「葉がいくつかつき、ぽつんと一輪の花を見たときは感動した。毎年挿し木で増やしていくが、鉢植えしたあと育ててくれる里親を探している。4年くらい成長したところで移植するが、どこに植えるか、関係先とも話し合っていきたい」

この夢を育て実現していくには行政側の支援が欠かせない。

増田さんは大手企業の役員などを経て10年前退職。IT企業の役員などのかたわら、市生涯学習センター推進委員、市自治基本条例の策定市民会議メンバーなど忙しい。

城廻在住。68歳。

（連絡先☎0467・47・0977）

放生祭のほたる幼虫放流

鶴岡八幡宮の柳原神池

初夏の夜を楽しませるほたるの幼虫3万5千匹が、3月12日、鶴岡八幡宮境内の柳原神池に放流された。

鶴岡幼稚園の園児約40人が放流を手伝った＝写真。

ほたるが乱舞し、安らぎの境内と4年前から幼虫を放っている。東京・板橋区立の飼育施設の協力で、幼虫やえさのカワニナを入手。簡易コップに入れられた幼虫を、園児たちが竹を割ったトイを利用して水と一緒に流した。

6月中旬にはほたるの放生祭が予定されている。柳原神池は若宮と白旗神社の中間にある池で、還流させている水路には幼虫やカワニナが育ち、ほたるの名所になりつつある。

竹馬や竹とんぼ作りに歓声

中央公園で子供たち楽しく

「頑張れー、その調子！」親に支えてもらいながら竹馬の練習をする子ども。竹とんぼを飛ばす子や竹での楽器を奏でる子など、笑顔が谷戸にあふれた＝写真。

2月末、鎌倉中央公園で、竹を切っておもちゃを作る講座が行われ、小学3、4年生と家族など約50人が参加した。

竹林で、指導員が見守る中、子どもたちがノコギリを引く。茂りすぎた竹を切ることは、山の手入れの意味をもつ。

長さ約30センチの太い竹に穴を開けてひもを通したものを二つ作り、両足を乗せ、ひもを握って歩く「竹ぽっくり」は人気。やがて、カポカポという音と歓声が響き渡った。

これは市公園協会主催連続講座で、「子どものこんないきいきした表情を初めて見た」などの保護者の声も。同講座は今年度も4月から開講される。

ワカメ漁不振、天日干しまばら

暖冬の影響か、鎌倉の海

2月から3月中旬にかけてのワカメ漁が、今年は暖冬の影響で生育が芳しくない不振という。

収穫されたワカメは浜辺でかまゆでされ、天日干しされるが、例年よりこの作業が短期間で終わった＝写真は坂ノ下海岸。

鎌倉の海は、夏と冬の海水温の変化が大きいため、豊かな漁場として魚介類に恵まれ、質の良いワカメがとれる。05年のワカメの収穫高は鎌倉、腰越の2カ所の漁協で天然、養殖ものを合わせて年間約135トンあった。

鎌倉漁協関係者は「今年は普段の半分ぐらいではないか」と話している。

清泉小OG（ジー）が4連覇

熱戦広げた鎌倉かるた大会

鎌倉ペンクラブ（早乙女貢会長）主催のかるた大会が3月10日、鎌倉の建長寺で開かれ、12一組484人が参加した＝写真。

参加者は昨年より19組多いこれまでの最高で、小学生を中心に友人同士や家族チームなど。

会場の黒十殿の二間は、絵札をはさんで4人1組の2チームが対戦相手と向かい合って正座し、44枚の絵札をとりあった。周りを応援の父母らが取り囲み、会場は熱気に包まれた。

読み札が読み上げられると瞬時に札をとる音が響き、熱戦がくりひろげられた。優勝は清泉小学校OGチームで小学校在学中3連覇している。今回中学1年の3人と教諭1人の顔ぶれ。準優勝は初出場の西鎌倉小学6年チームだった。

足・靴の悩み無料相談

大船ロビンフット靴店

靴が合わない、歩くと足が痛いという人は、「大船ロビンフット靴店」へ。無料足診断で、足を計測し、足の形状や健康状態を"カルテ"にして、ぴったりの靴を選んでくれます。

また、中敷きの製作や、靴の加工で、足と靴の悩みに応えてくれます。

こんな悩みはぜひ相談を

外反母趾、扁平足、タコ、ウオノメ、巻爪、ハンマートゥ、膝関節症、股関節症、腰痛、リウマチ・糖尿病・麻痺で履く靴がない。子どもがよく転ぶ。歩き方がおかしい。

婦人靴・紳士靴・子供靴と品揃えは豊富

営業時間／10時～19時
定休日／なし
大船駅東口徒歩3分
☎0467(42)6322

無料足診断券
"足のカルテ"プレゼント
ご利用時に掲示してください。
大船ロビンフット靴店

大切にします……「心」からのおもてなし。
CHINESE-RESTAURANT
中国料理 華正楼（かせいろう）
●鎌倉店／鎌倉長谷大仏前 ☎0467(22)0280代 ●横浜中華街／本店 ☎045(681)2918代 新館 ☎045(661)0661代

本を通じ、皆様のお役に立ちたいと願っています。
雑誌・書籍・文具・事務用品・ファンシー
鎌倉駅東口前 ☎0467-22-0266
大船駅東口前 ☎0467-46-3841
東逗子マルエツ店内 ☎046-871-0590
島森書店

展示即売会場
2F貸画廊（75㎡）
3F貸教室
ギャラリー島森
●予約申込み・問合せ ☎0467(24)3160 島森商事㈱

八幡宮前・蒲焼専門店
うなぎ 茅木家
☎(22)1460

"春の旬フェアー"開催中
―お一人様 ¥6,300（税込み）より―
4月・5月
中国料理
鎌倉山下飯店
TEL 0467-22-8855
FAX 0467-25-6954
鎌倉警察署前 鎌倉 Mori Bl

鎌倉で愛されて23年
こだわりの3つのA 安全 安心 愛情
ご注文はこちら
0120-22-0821
材木座海岸そば
手づくり弁当 バニー